

<p>障害者就業・生活支援センターと就労定着支援事業所間の連携経過</p>	<p>A・TがB事業所を利用中から情報共有をしており、B事業所が就労定着支援事業を開始した後も、連携はスムーズであった。現在もB事業所の就労定着支援事業を利用しており、B事業所とナカポツセンター間で役割分担・情報共有をしながら対応している。</p>
<p>具体的支援経過</p>	<p>H31.2.18 A・TがC社に就職。ナカポツセンターが勤務初日に同行訪問。社長や工場長の指導で業務に取り組む。職場訪問後、職場での状況等をB事業所へ報告する。</p> <p>H31.2.26 ナカポツセンターがC社を訪問。A・Tの体調や勤務状況を確認。A・Tより昨日の夕方に症状が出たが、今日は出勤できた。そのことは、C社には伝えているとの話あり。</p> <p>H31.2.27 ハローワークの雇用指導官とナカポツセンターでC社を訪問。障害者トライアル雇用及びA・Tの勤務状況を確認。訪問後、C社での状況等をB事業所へ報告する。</p> <p>H31.4.12 ナカポツセンターがC社を訪問。A・Tの勤務状況を確認。C社より、休まずに出勤できている、一生懸命働いているとの話あり。A・Tからは体調があまり良くない日もあったが、休まずに出勤できている。ここ最近、体調は良いとの話あり。訪問後、C社での状況等をB事業所へ報告する。</p> <p>R1.5.14 B事業所とナカポツセンターで訪問。A・Tのトライアル雇用期間中の勤務状況を確認。体調は安定しており、業務に対して真面目に取り組んでいるとの話あり。B事業所とナカポツセンターの役割について、今後ナカポツセンターはC社訪問、B事業所は1か月に1回職場外での面談を行っていくことを説明。これまでのC社との関わりから、C社との連絡体制はナカポツセンターを窓口とした。</p> <p>R1.6.28 ナカポツセンターがC社を訪問。A・Tの体調や勤務状況を確認。休まずに出勤できている。C社より、体調が悪い時はわかりやすいとの話あり。訪問後、C社での状況等をB事業所へ報告する。</p> <p>R1.7.22 ナカポツセンターがC社を訪問。A・Tの体調や勤務状況を確認。体調は変わりなく勤務できている。訪問後、C社での状況をB事業所へ報告する。</p>

具体的支援経過	R1.9.19	ナカポツセンターがC社を訪問。C社からA・Tについて、体調不良のため、9月上旬から休みをとっており、体調が安定してから仕事に復帰してほしいとの話がある。訪問後、A・Tの状況をB事業所と情報共有する。後日、B事業所とC社の復帰に関する面談を行う予定との話がある。その後、9月下旬からC社に復帰している。
	R1.10.21	ナカポツセンターがC社を訪問。A・Tの体調や勤務状況を確認。復職後の体調は良好。通院は2週間に1回との話がある。C社からはとても頑張っているとの話があり、評価は高い。職場訪問後に状況等をB事業所へ報告。
	R1.11.27	ナカポツセンターがC社を訪問。A・Tの体調や勤務状況を確認。体調は変わりなく勤務できている。訪問後、C社での状況をB事業所へ報告する。また、地域自立支援協議会就労部会において、働く当事者として発表を依頼する方向で考えていることを伝える。
	R1.12.13	ナカポツセンターがC社を訪問。地域自立支援協議会就労部会において、A・Tに働く当事者として発表を依頼したいこと、発表の中で会社紹介をしたいことを伝え、C社の了承を得る。
	R1.12.26	ナカポツセンターがC社を訪問。A・Tの体調や勤務状況を確認。体調は変わりなく勤務できている。
	R2.1.15	ナカポツセンターがC社を訪問。A・Tの体調や勤務状況を確認。体調は変わりなく勤務できている。
	R2.3.18	A・Tの体調や勤務状況を確認。体調は変わりなく勤務できている。
	R2.4.24	ナカポツセンターよりC社へ電話を入れ、A・Tの勤務状況を確認。変わりなく取り組んでいるとの話がある。 新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、C社への訪問は控える。
	R2.7.10	ナカポツセンターがC社を訪問。A・Tの体調や勤務状況を確認。体調は変わりなく勤務できている。訪問後、C社での状況をB事業所へ報告する。
	R2.10.27	ナカポツセンターがC社を訪問。A・Tの体調や勤務状況を確認。A・Tより「先日体調があまり良くなく、終業時間まで勤務したが、母に迎えに来てもらい帰宅したことがあった。症状が出ると仕事に集中できず、他の人に迷惑をかけるのではないかと不安になるが、ここ最近は落ち着いてる。」との話がある。 今後は体調が悪化する前に申し出て無理はしないこと等を助言するとともに、次回の通院は10月末というため、主治医にも相談をするよう伝える。訪問後、C社での状況等をB事業所へ報告する。

<p>② 現在の状況及び 支援効果</p>	<p>現在、月に1～2度の頻度で体調が悪い時があるが、早退や欠勤なく勤務できている。仕事への姿勢（勤務態度）も良くC社の評価は高い。月1回就労定着支援事業所の担当者と面談を行っており、定期的に話をする場があることはA・Tにとって安心感に繋がっている。ナカポツセンターでは3か月に1回程の頻度でC社を訪問し、勤務状況を確認している。C社での状況等は就労定着支援事業所、相談支援専門員と情報共有している。様々な支援機関が関わっているため、関わりが多くなることでのA・Tの負担感に配慮しながら対応している。</p>
<p>障害者就業・生活支援 センター側からの 支援・連携上の課題</p>	<p>C社とのこれまでの関わりから、連絡窓口及び職場訪問による定着支援はナカポツセンターが担うこととした。C社訪問後、確認した勤務状況等を就労定着支援事業所へ報告している。就労定着支援事業所からは月1回の面談内容の報告を受けている。現状、ナカポツセンターと就労定着支援事業所の情報共有はできている。このケースではナカポツセンターと就労定着支援事業所が役割分担・情報共有をしながら対応しているので、Aさんの勤務状況を把握できているが、就労定着支援事業所のみが関わっているケースで、後々ナカポツセンターへの引継ぎが想定される場合は、ある程度早い段階からの相談や情報共有は必要であると考えている。また、就労定着支援事業所として、3年が経過したからもう関わらないということではなく、対象者の課題に応じて、引き続き関わっていただけると有難いと感じる。</p>
<p>就労定着支援事業所か らの要望・意見</p>	<p>役割分担において、ナカポツセンターにC社への訪問とその内容の報告をいただいております。Aさんとは1か月に1回面談を行っており、C社への相談が必要な時はナカポツセンターに協力をお願いしたい。引き続き連携して支援を行えればと考えている。</p>